

2020年度
入学試験問題

社 会

2月1日 午前

受験番号	氏 名

中村中学校

<問題は次のページからです。>

1 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

わたしたちの暮らしや経済は、①・②・石油などの化石燃料にその多くを頼っています。世界のエネルギー需要は急速に増えており、③現在約94%を海外からの輸入に頼っている日本にとっては、今後とも厳しい状況が続きます。

エネルギー自給率が約6%である日本ですが、そんなわたしたちにも、④自然のなかにある豊富な再生可能エネルギー資源があります。

⑤南北に長い日本列島は、その地域ごとの多様な再生可能エネルギーに恵まれています。しかも、⑥日本は地熱資源量で見ると世界第三位。しかし、日本の再生可能エネルギーは、なかなか導入が進みません。

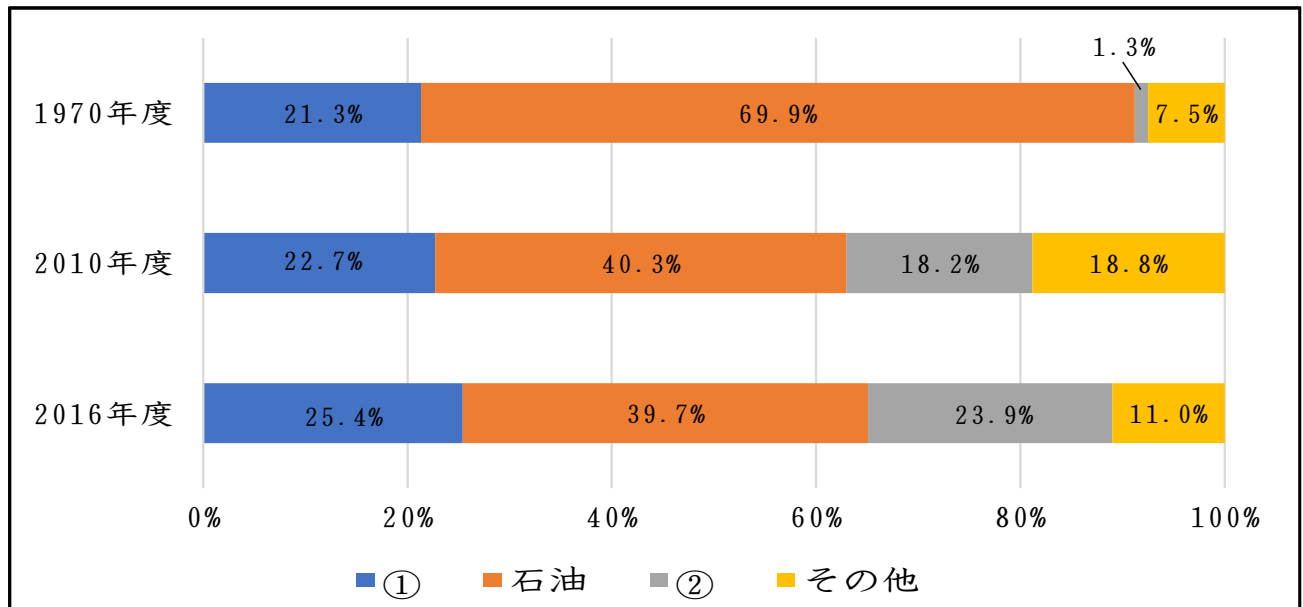
再生可能エネルギーは、環境にとっても優しく、明日の暮らしを明るくしてくれる、わたしたちのエネルギーにとって大きな可能性を秘めた、とても大切な選択肢です。

再生可能エネルギーとのパートナーシップ。もっと仲良く、「一緒に暮らす」という発想で、おつきあいしてみませんか。

(資源エネルギー庁ホームページより一部改変)

〔問1〕空らん①・②には、2種の化石燃料があてはまる。これらについて、次のグラフを参考にして、以下の各問いに答えなさい。

＜日本のエネルギー消費割合＞



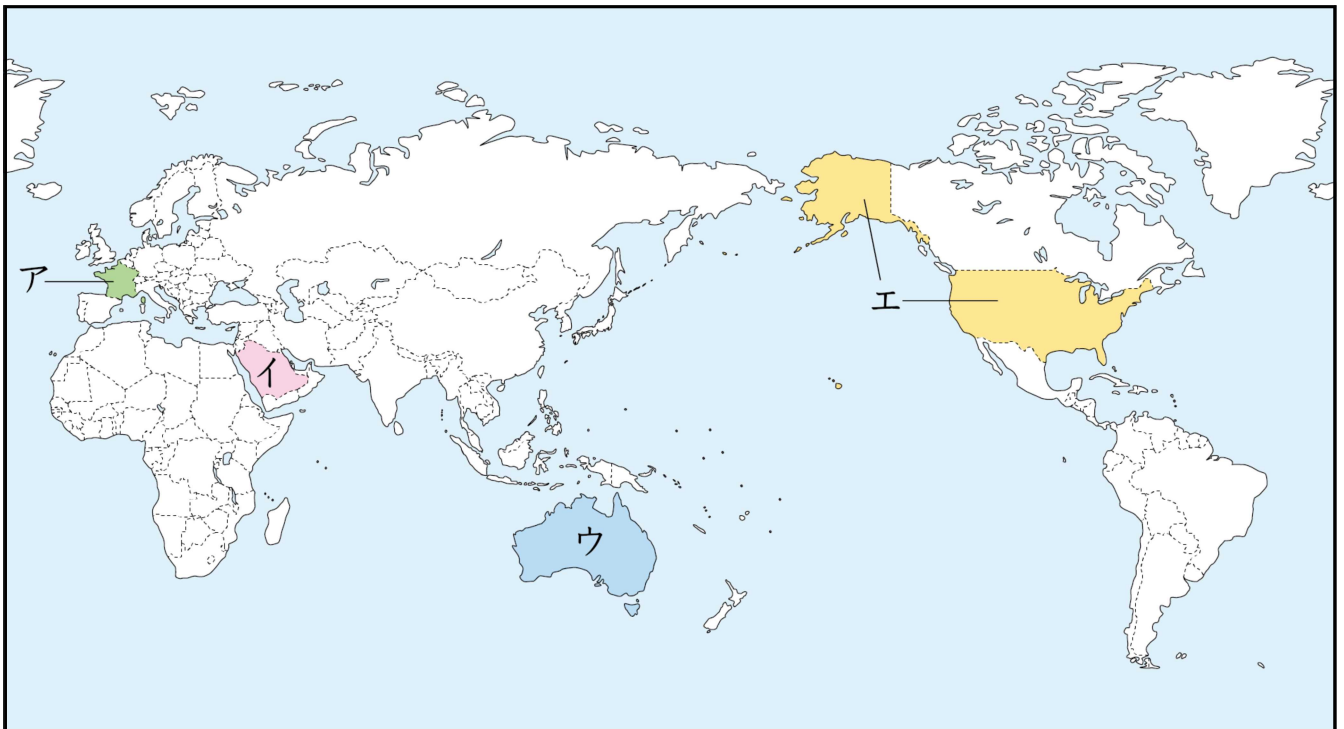
やのつねた
(矢野恒太記念会『日本のすがた2019』より作成)

(1) グラフ中の空らん①・②にあてはまる化石燃料の組み合わせとして正しいものを、次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. ① - シェールガス ② - ウラン
- イ. ① - 石炭 ② - 天然ガス
- ウ. ① - ウラン ② - シェールガス
- エ. ① - 天然ガス ② - 石炭

(2) 1970年度と2010年度を比較すると、石油の消費割合が大きく減っていることがわかる。この原因として考えられる1970年代に発生したできごとを答えなさい。

〔問2〕下線部③について、わが国が化石燃料を輸入している国として、誤っているものを、次の地図のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。



〔問3〕下線部④について、次の資料を参考に以下の各問いに答えなさい。

＜ 再生可能エネルギーのなかまたち ＞



ふうこ
風子

風ので電気をつくる『風力発電』

わたしは風子、「気分屋」なんて
言われるんだけど、昼も夜も低コストで
しっかり発電しますよ！



サンちゃん

太陽の光から電気をつくる『太陽光発電』

サンちゃんだよ！よろしくなり。
太陽光発電は、日本を代表する
再生可能エネルギーなんだ。



ミズリン

水ので電気をつくる『水力発電』

えへっ。あたしはミズリン。
水力発電ってば、昔から人気の
クリーンエネルギーなんだよ！

(資源エネルギー庁資料より)

- (1) 風力発電の風子が「気分屋」といわれているのはなぜか、具体的に説明しなさい。
- (2) 太陽光発電についての説明として正しいものを、次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。
- ア. 24時間、昼夜を問わず発電することができる。
 - イ. 日本政府はすべての電力消費を太陽光発電でまかなうことを決定した。
 - ウ. 発電に必要な設備を購入すると、費用はすべて国が負担してくれる。
 - エ. 各家庭で太陽光発電の設備を導入することが可能である。
- (3) 水の力を利用して電気を作る水力発電は、次のような施設しせつを利用している。このような施設を何というか、答えなさい。



〔問4〕下線部⑤に関連して、日本の国土の特徴^{とくちよう}について述べた文として誤っているものを、次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

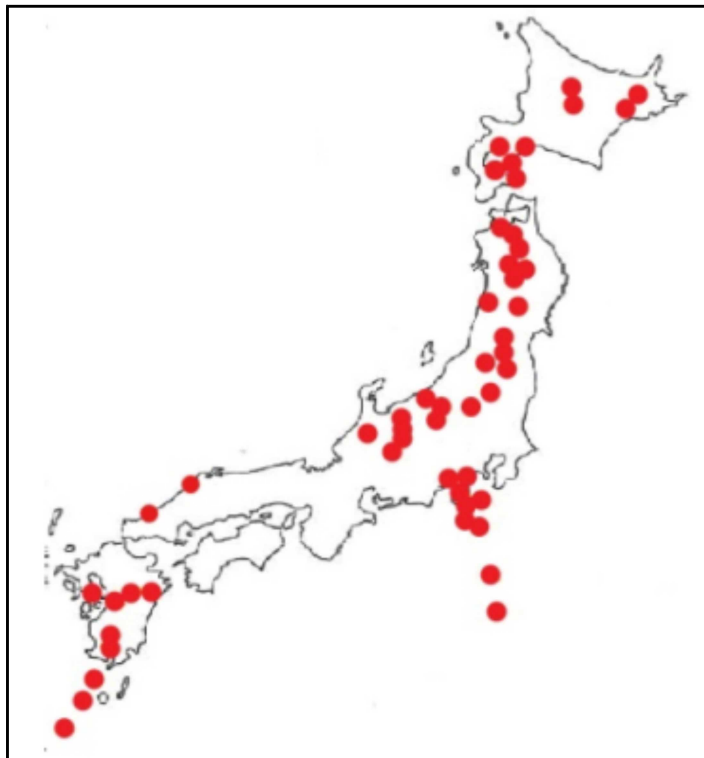
ア. 日本の領土のうち、北端は北海道の択捉島^{ほくたん えとろふとう}で、南端は東京都の沖ノ鳥島^{おき}である。

イ. 周囲の海には寒流^{かんりゅう}と暖流^{だんりゅう}が流れていて、地域ごとの気候^{えいきよう}に大きな影響^{えいきよう}を与えている^{あた}。

ウ. 日の出や日の入りの時間が大きくずれるため、地方ごとに標準時^{ひょうじゆんじ}を設定しており、日本国内で時差がある。

エ. 一部の地域を除いて温帯に属しており、世界の中でも降水量の多い国の1つであり、四季の区別もはっきりしている。

〔問5〕下線部⑥に関連して、豊富な地熱資源量を生み出している次の地図中の●はその一部である。これらは何を指すか、答えなさい。



(矢野恒太記念会『日本のすがた2019』より一部改変)

2 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

四方を海に囲まれた島国である日本では、古代から魚や水産物は生活と密接な関係にありました。縄文時代には、各地の貝塚^{かいづか}からアサリの貝がらやアジの骨などが出土しています。奈良時代に編集された『古事記』^{こじき}にはタイやアユなどの魚の名称^{めいしょう}の記述があり、①正倉院に収蔵されている刀にはサメ皮が使用されるなど、食用以外にも魚に関連するものが見受けられます。

江戸時代になると、江戸や②大阪には魚市場が置かれ、他産業の生産の拡大とともに水産物の消費が拡大するにつれて、流通業もいっそう発達しました。

現在、わたしたちが食べている魚を使った料理や加工品にも、歴史の中で人々の工夫^{くふう}からうまれてきたものがあります。魚のすり身を使ったかまぼこは、③室町時代から食べられていたといわれています。その後、かまぼこは④の茶会で出されたり、⑤ペリー来航時のもてなし料理としても出されていたそうです。にぎりずしは、手軽に食べられるファーストフードとして江戸時代に誕生しました。

また、滋賀県のふな寿司^{ずし}や山口県のフグ料理など、今でも郷土料理として各地に伝わっているものもあります。ふな寿司は、江戸時代に⑥将軍へ献上^{けんじょう}されたという記録があります。フグは、⑦豊臣秀吉の時代に禁食令^{ちようせん}が出されました。これは、朝鮮出兵の際にフグを食べた多くの兵が食中毒になったためです。しかし、明治時代になると、伊藤博文は⑧下関^{しもせき}でフグの美味^{おい}しさに感動し、禁食令を解くように働きかけたそうです。

このように、魚食文化が発展してきた日本ですが、近年は若者を中心に魚食離れが進行しているといわれています。そこで、さまざまな試みが行われており、次の世代に魚食の良さを伝えようと努力が続けられているのです。

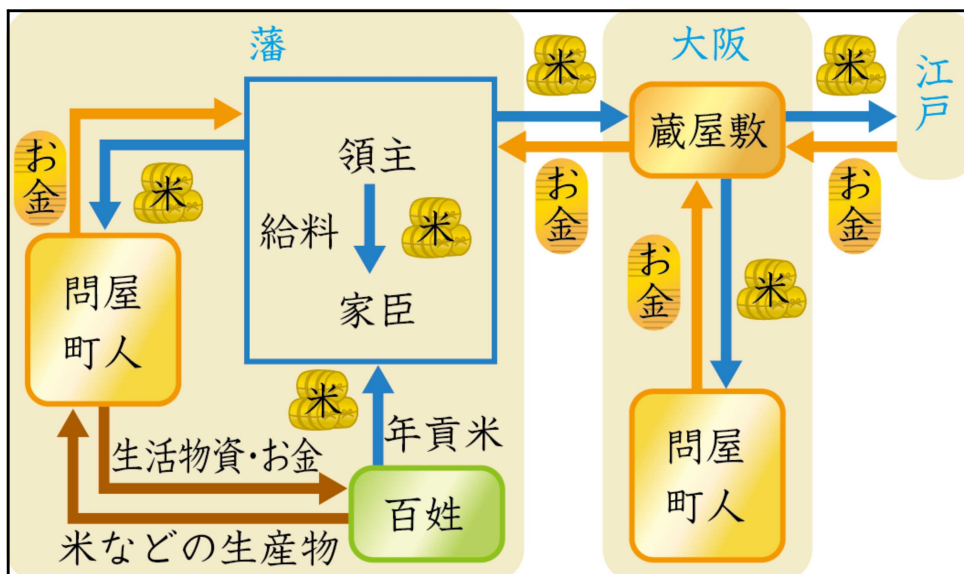
(水産庁ホームページより作成)

〔問1〕下線部①の「正倉院」の説明として正しいものを次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 中国の皇帝から金印を授けられた奴国の王が作らせたもので、収穫した米を保存するための倉庫である。
- イ. シルクロードを通して日本へ伝えられた品など、主に聖武天皇の愛用品が納められた倉庫である。
- ウ. 朱印船貿易で、東南アジアに出かけていった日本の船が持ち帰った貿易品を保管するために作られた倉庫である。
- エ. 隋から帰国した小野妹子が、中国の政治や文化を取り入れるために作らせた倉庫である。

〔問2〕下線部②の「大阪」について、江戸時代、大阪が「天下の台所」と呼ばれていた理由を次の2つの資料を参考にして答えなさい。

< 江戸時代の物流のしくみ >



江戸時代の交通網



〔問3〕下線部③の「室町時代」の産業について、誤っているものを次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 物資を運ぶため、^{ばしやく}運送業者の馬借や^{といまる}倉庫業者の問丸が活躍した。
- イ. この時代になると定期市の回数が増え、月6回^{かいさい}開催されることもあった。
- ウ. 京都に官営工場が設立され、外国から招かれた^{ぎし}技師の指導により製糸業が^{さか}盛んになった。
- エ. 商品の売買には、中国から輸入された^{そうせん}宋銭や^{みんせん}明銭が使用された。

〔問4〕空らん④にあてはまる人物名を次の文章を参考にして答えなさい。

^{さかい}堺出身の商人で、当時流行していた茶の湯を完成させた。織田信長や豊臣秀吉にも仕えたが、秀吉と対立し切腹させられた。

〔問5〕下線部⑤の「ペリー来航」に関連して、1854年、日米和親条約によって^{はこだて}函館とともに開港された港の名称を答えなさい。

〔問6〕下線部⑥の「将軍」について、8代将軍が行ったこととして正しいものを次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 元軍との戦いに備えて全国各地の武士を集め、江戸の守りを固めさせた。
- イ. ^{くじかたおさだめがき}公事方御定書によって、公正な裁判を行うために裁判の基準を定めた。
- ウ. ^{おおしおへいはちろう}大塩平八郎が農民らを率いて大阪で起こした^{ちんあつ}反乱を鎮圧した。
- エ. 幕府にさからっていた東北の^{えみし}蝦夷を、大名の兵力を利用して従わせた。

〔問7〕次の資料は、下線部⑦の「豊臣秀吉」が農民らに対して行った政策に関するものである。この資料の政策を何と呼ぶか、答えなさい。

一、 諸国の^{ひやくしやう}百姓が^{わきざし}刀・脇指※・^{やり}弓・^{てっぽう}槍・鉄砲その他の武器を所持することをかたく禁止する。

※ 脇指…小型の刀のこと。

〔問 8〕 下線部⑧の「下関」で結ばれた条約と関係の深いものの組み合わせとして正しいものを、あとのア～エより 1 つ選び、記号で答えなさい。

- a. 日清戦争にっしん
- b. 日露戦争にちろ
- c. ロシアは、フランス・ドイツとともに、リャオトン遼東半島を中国に返還へんかんするように日本に要求する三国干渉かんしやうを行った。
- d. 日本は樺太からふとの南半分や、南満州の鉄道などを得たが、賠償金ばいしやうきんを取れなかったことで国民の不満は高まった。

ア. a - c

イ. a - d

ウ. b - c

エ. b - d

3 小学校6年生の花子さんは、社会の授業で憲法について調べ、パソコンを使って発表することになりました。花子さんが作ったパソコン用資料について、あとの各問いに答えなさい。

(1) 私の発表

日本国憲法を学ぶ
～天皇について～

中村花子

(コメント)

去年は、天皇陛下の退位そくいや即位ともなに伴って元号が平成から令和へ変わり、新聞やニュースでも報道されました。私は天皇について調べるため、①日本国憲法を読んでみることにしました。

(2) 天皇の地位

～日本国憲法第1条～
日本国の②
日本国民統合の②

「日本国憲法」において、その第1条で「天皇は、日本国の②であり、日本国民統合の②であって、この地位は、主権そんの存する日本国民の総意もとづに基く」と規定されています。

(3) 天皇の職務

～日本国憲法第4条～
③国事に関する行為のみ
国政に関する権能はなし

天皇の職務は国事行為こういと呼ばれています。私たちも授業で習いました。天皇は実際の政治にはまったく関わらず、いくつかの国事に関する行為のみを行います。これらの国事行為を行うには、④の助言と承認を必要とし、④がその責

任を負います。国事行為の具体的な内容は、日本国憲法第6条・第7条に記載きざいされています。

〔問1〕下線部①の「日本国憲法」についての説明として誤っているものを、次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 1946年の11月3日に公布され、翌年^{よくねん}5月3日に施行^{しこう}された。
- イ. 国の最高法規であり、憲法に反する法律や命令は効力を持たない。
- ウ. 天皇が国民のために定めた憲法である。
- エ. 基本原則は、国民主権・基本的人権の尊重・平和主義の3つである。

〔問2〕空らん②・④にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものを次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. ② - 象徴 ④ - 内閣
- イ. ② - 代表 ④ - 内閣
- ウ. ② - 象徴 ④ - 国会
- エ. ② - 代表 ④ - 国会

〔問3〕下線部③の「国事に関する行為」として誤っているものを、次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 内閣総理大臣の任命
- イ. 法律・政令・条約の公布
- ウ. 国会の召集^{しょうしゅう}
- エ. 被災地^{ひさいち}への訪問

4 次の【1】～【4】の資料をふまえ、あとの各問いに答えなさい。

【1】いわゆる鎖国体制が整って以降、日本は地図 a の 5 つの国・地域と交流があった。

<地図 a >



* 国境線は現代のものである。

◇A国は、ヨーロッパで唯一^{ゆいつ}日本と交易のあった国である。長崎の出島^{でじま}で取引が行われた。

◇B国とは、長崎で取引を行った。

◇C半島にある国は、対馬の宗氏^{つしま そう}を通じて定期的に使節を江戸まで^{はけん}派遣していた。

◇Dは、当時は蝦夷地^{えぞち}と呼ばれた。松前藩^{まつまえはん}はここに住むアイヌとの交易による利益を主な収入源としていた。

◇Eは、当時は日本とB国の双方^{そうほう}に使者を派遣していた。

【2】 A国やB国とは、長崎で以下のような取引が行われた。

A国との貿易		B国との貿易	
輸入品	輸出品	輸入品	輸出品
生糸 <small>きいと</small>	銀	生糸	銀
薬品	金	絹織物	銅
砂糖		綿織物	海産物
書籍 <small>しょせき</small>		砂糖	
		蘇木 <small>そぼく</small>	
		香木 <small>こうぼく</small>	

【3】 C半島にある国から来日した通信使は地図中の赤線のルートをとって、Eからの使節は地図中の青線のルートをとって、ともに海路で近畿地方まで来て、そこから陸路で江戸に行った。

<地図 b>



【4】 図cはC半島にある国、図dはEからの使節が江戸に行く様子である。いずれの絵も中央の駕籠かごに乗っている人物が正使とみられる。また、図eはC半島にある国からの使節一行が江戸市中を行列で歩いている様子を江戸の市民が参観しているのがわかる。

< 図c > C半島からの使者の様子



< 図d > Eからの使者の様子



< 図 e > C半島からの使者の様子



〔問1〕【1】～【4】の資料を参考にしながら、5つの国・地域との交流について述べた文として正しいものを次のア～エより1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 江戸時代のC半島やEからの使節には身分差はなく、上陸後は全員徒歩による行列が行われた。
- イ. 現在、Dには在日米軍基地の80%が集中しており、アメリカとその負担軽減が議論されている。
- ウ. 現在、B国は日本とA国を抜いてGDPが世界第1位となったが、対米貿易黒字は年々減少傾向にある。
- エ. 江戸時代を通じて、長崎で行われたA国やB国との貿易の中で、生糸と銀が多く取引された。

〔問2〕「鎖国」といいながら、日本は他の国や地域と関わりがあったことがわかる。そういった国や地域と関わりを持つと幕府にはどのような利点があったと考えられるか。【1】～【4】の資料より読みとれることを2つ挙げ、80字以上100字以内で答えなさい。